

平成27年(2015年)12月7日(月曜日)

# 大和合金 N C 旋盤を増設

## 納期対応強化、品質を向上

銅合金の鋳造・鍛造

設で10台に増える。投  
資金額は5千万円強。

N C 旋盤は新品を購  
入。現有機よりも大型

品を高精度で切削でき  
ることが強みとなつて  
いる。萩野社長は「設  
備の増強と併せて研修  
会への参加などで作業

者が育成にも注力して  
おり、「品質力を強化し  
ている」と話している。  
品質を保つつ納期  
対応力を強化。抵抗溶  
接の電極材や航空機の  
軸受け部材、減速機の  
パーツ素材などさまざ  
まな鋳造・鍛造品の拡  
販を図っていく方針  
だ。

旋盤を増設する三芳

品メーカーの大和合金  
(本社・東京都板橋区、  
社長・萩野源次郎氏)  
は、年内をめどに三芳  
工場でN C 旋盤を2台  
増設する。切削加工の  
能力は2~3割高まる。  
受注状況が変化し  
ても、納期対応力を保  
つことが狙い。現在N  
C 旋盤は8台あり、増  
設で10台に増える。投  
資金額は5千万円強。

同社では現在、能力  
を超える分については  
外注を活用して需要の  
振れに対応。旋盤の増  
設により、繁忙時に急  
な注文が入った際など  
に、自社できらに機動  
的に対応ができるよう  
になる。今後も引き続  
き外注の活用は続ける

工場(埼玉県三芳町)は昨年、事業規模の拡  
大余地を確保するため  
化学メーカーから取  
得。東京都板橋区の工  
場から設備を移設し、  
先月末から操業を始め  
ている。

工場(埼玉県三芳町)は昨年、事業規模の拡  
大余地を確保するため  
化学メーカーから取  
得。東京都板橋区の工  
場から設備を移設し、  
先月末から操業を始め  
ている。